

岩本病院

回復期リハビリテーション病棟紹介



当院、回復期リハビリテーション病棟では、急性期の治療を終え、病気、けがをする前の状態に戻るためのリハビリテーションを集中的に行っています。

入院期間は、主に整形外科疾患90日(神経・筋・靭帯損傷60日)、脳血管疾患150日を目安に、リハビリテーションを1日2時間以上行い、社会・在宅復帰を目指します。

当院では、整形外科医、内科医の総合診療にて、安心して入院生活を送ることができます。

～リハビリテーション～

理学療法

病気や怪我により日常生活に支障を来した方に対し、徒手療法(AKA, SpineDynamics, 筋膜リリース等)・運動療法・物理療法を用いて、痛みなく且つ効果的に患者様の基本動作、日常生活活動の改善を図り、家庭・社会復帰を目指しています。

作業療法

入浴・排泄・食事など日常生活に支障を来した方に対して、ハンドセラピーや作業活動を用いて治療を行います。作業を通して身辺動作や生活関連動作の改善を目指します。自助具・福祉用具の提案も行っています。

物理療法

当院では、極超短波治療器・磁気温熱治療器などの温熱療法機器や低周波・干渉波・SSP療法などの電気刺激療法機器、上肢・下肢の過流浴・パラフィン浴、頸椎腰椎牽引機器を入院、外来問わず利用することができ、痛みなくリハビリできます。



療法士による個別リハビリ



各種トレーニングマシンと物理療法機器(別室)にて効果的なリハビリが行えます



対象疾患及び入院期間

疾患	発症から入院	入院期間
①脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経損傷等の発症もしくは手術後	2ヶ月以内	150日
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害 重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷		180日
②大腿骨、骨盤、脊椎、股関節もしくは膝関節の骨折、または2肢以上の多発骨折の発症、または手術後	2ヶ月以内	90日
③外科手術または肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後	2ヶ月以内	90日
④大腿骨、骨盤、脊椎、股関節または膝関節の神経、筋または靭帯損傷	1ヶ月	60日
⑤股関節または膝関節の置換術後の状態	1ヶ月	90日

(例えば大腿骨の骨折をしてしまったら)

受傷・急性期

急性期病院にて、CTやX-P検査で、骨折部の状態を確認し、部位により人工骨頭や髓内釘などの観血的な手術を行います。通常、術後翌日よりリハビリテーションを行います。
術後2～3週間ほどで、急性期の病院から回復期の病院へ転院となります。

回復期

当院に入院されますと、CT・X-P検査、骨塩検査(骨粗鬆症)、血液検査、心機能検査など(検査項目は状態に応じて)を実施、整形外科医・内科医により総合診療を行っていきます。

整形外科医による骨粗鬆症の治療や神経ブロック療法・トリガーポイント注射、服薬コントロール、リハビリにて徒手療法・物理療法で痛みを除きつつ、運動療法も骨癒合に応じて行っていきます。

内科疾患にも、内科医にて内科的加療が行われます。

医師、看護師、薬剤師、リハビリスタッフ、医療相談員、管理栄養士等の他職種が家庭・社会復帰をサポートしてきます。

通常、1～2ヶ月程度で、体が動かし易くなります。リハビリでは運動療法・日常生活動作訓練を積極的に行い、医療相談員等が在宅生活・復職を想定して必要な退院支援をすすめていきます。

退院・在宅

退院後のフォローアップとして、外来リハビリを行っています。

実際に在宅・復職されてからも骨は、通常約1年間は強度が不十分な状態です。退院されても継続して、専門医による骨粗鬆症の治療、内科的加療、リハビリテーションで問題点を当院外来でサポートしていきます。

～食事～



五目ご飯と豚汁



さわらの西京焼きとツナじゃが

管理栄養士がバランスの良い、栄養たっぷりの食事を提供します。

キザミ食、ミキサー食、糖尿病食、高血圧食など多様な形態も可能です！

当院にて調理を行い、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく出来立てを提供しております。

～入浴～



院内最上階に展望大浴場があり、讃岐富士を一望出来ます。

一般浴槽に加え、座浴、ストレッチャー浴にも対応しており、安心して、ご入浴頂けます。

ご不明な点など、お気軽にご相談下さい。
岩本病院 地域医療連携室まで
(0877)－28－6311(代表)
090－5712－0855(直通)